

目次

神々の神仏関係史再考——カミを祀る担い手をめぐって——

【シンポジウム】

発題①	古代神社の神事と組織……………	國學院大學研究開発推進機構専任講師	加瀬直弥氏……………	4
発題②	中世の神社と勧進……………	國學院大學人間開発学部准教授	太田直之氏……………	25
発題③	近世靈山における神仏関係と組織……………	國學院大學研究開発推進機構准教授	遠藤潤氏……………	37
発題④	神仏分離後の神社と神官・神職……………	國學院大學人間開発学部准教授	藤田大誠氏……………	58
コメント・討議……………				98
担い手論の深化／相対化……………		上智大学文学部准教授	北條勝貴氏……………	126
シンポジウム「神仏関係史再考」に触れて……………		福山大学人間文化学部准教授	引野亨輔氏……………	134

研究発表

第一部会

中世伊勢神宮僧尼拝所の変遷について——神職の対応からみる神仏関係——	古谷易士	137
斎王発遣の儀についての一考察	落合敦子	139
江戸期における海人の移動と信仰	瀬津隆彦	143
吉田家の道統断絶——能登国気多社桜井俊基による吉田兼右への返伝について——	籾木紀彦	146
金光図書館蔵白川家資料に関する一考察	山口剛史	149
『古事記伝』と神宮字者	中野裕三	151
孝明天皇と神祇	大戸忠男	154
原罪観・禊祓の原点と展開	平野孝國	157
第二部会		
近世伊豆国三嶋社の祭礼について——「三島宮御神事式」にみる祭礼と神饌を中心に	吉永博彰	160
神饌研究の課題と展望	吉野亨	162
神祇院改正神社祭式行事作法に関する一考察	竹内雅之	164
高岡御車山祭の源流について	高尾哲史	167
過疎地域と神社——高知県高岡郡の地域を事例に——	冬月律	170
少子高齢化による年中行事の変化に関する一考察——秋田県横手市大森町を事例として——	菅直子	172

三月十一日の地震津波と神道と 勝田 勇 176

第三部会

大國隆正の神観念について 上西 巨 180

浦田長民の神道教説 武田 幸也 184

久保季茲の思想——明治期を中心に—— 小林 威朗 187

島地黙雷の「神道治教」論 戸浪 裕之 189

田中治吾平「国体背反の大祓詞——迷信邪教の温床——」の検証 東郷 茂彦 191

寛克彦考——神道教育研究の視点から—— 中道 豪一 194

現代の神道家について 村瀬 佳子 197

初期井上門中（禊教）の運営指導体制 荻原 稔 199

【パネル発表】

『災害と神道（古代）』要旨 代表岡 田 莊司 202

有働智榮・渡辺瑞穂子・船井まどか・小林宣彦・松本昌子・伊東裕介・三橋 正・笹生 衛
司会 藤森 馨

東日本大震災と神道——被災地支援と復興を探る—— 代表黒 崎 浩行 210

茂木 栄・藤本頼生・板井正斉・牟禮 仁・井上順孝
司会 松本久史